

令和2年度

# ちよだ生物多様性 活動事例集

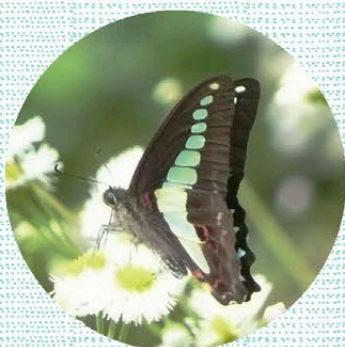


— 受賞者の活動 —



皇居から広がる  
生きもの  
ネットワーク

自然と共生した  
都心のまちを  
めざして



# 生物多様性 とは？

地球上に存在するあらゆる生きものは、互いに生存を助け合いながら複雑に関わり合い、自然の中でそれぞれの役割を持って、一定のバランスで持続する生態系を創りあげています。このようなさまざまな生きものの豊かな個性とつながりを「生物多様性」といいます。

## ● 生物多様性3つのレベル



### 1 生態系の多様性

それぞれの地域では、森や草地、池などの多様なタイプの生態系が存在します。

### 2 種の多様性

一つ一つの生態系には、さまざまな個性を持った多くの種が存在します。

### 3 遺伝子の多様性

同じ種でも色・形や性質などに違いがあり、多様なタイプの遺伝子が存在します。

## いま、生物多様性が 危ない！！

現在、地球上では野生生物の乱獲や生息地の破壊、地球温暖化、人が持ち込んだ外来生物などの影響によって、生きものの減少や絶滅がこれまでになく急速に進んでいます。

このように生物多様性が失われ続けると、生態系のバランスが大きく崩れ、暮らしを支える自然の恵みを持続的に得ることができる仕組みが壊れてしまいます。

### 危機

#### 1 野生生物の乱獲や 生息地の破壊

開発行為による生きものの生息・生育環境の悪化や、鑑賞、商業利用を目的とした乱獲によって、生きものの数が減少しています。

### 危機

#### 2 生態系の質の低下

人の手によってバランスが保たれていた里山の森林や農地が、生活様式の変化によって管理されず荒廃し、生きものの生息・生育環境が悪化しています。

### 危機

#### 3 地球環境の 変化による影響

地球温暖化などの影響により気象の変化で、環境が変化し、生きものの減少や絶滅が急速に進み、生態系が単純になっています。

### 危機

#### 4 外来種による 生態系のかく乱

自然状態では生息・生育していなかった地域に、人間のさまざまな活動で持ち込まれ、定着した外来生物によって、地域固有の生態系のバランスが崩れてきています。

# ちよだ 生物多様性大賞 って何だろう？

「ちよだ生物多様性大賞」は、生きものに優しい活動を表彰することで、生物多様性の保全活動をする意欲を高め、積極的に取り組んでいただくことを目的とした制度です。

ちよだの生きものたちの魅力を改めて感じる事が出来るこの制度は、平成28年度に都内で初めて創設されたユニークな制度です！

## ● 令和2年度 生物多様性大賞の様子



## ● なぜ千代田区で？ ～取り組む意義～

千代田区は、官公庁や大企業が集中する一方で、皇居や日比谷公園等の豊かな自然に恵まれていることが、他にない大きな特徴です。だからこそ、生物多様性を含めた環境との共生が必要です。

生物多様性を含めた環境と共生できる経済社会にする必要があります！

皇居の豊かな自然環境を周囲へ広げる取組みは、千代田区だからできることです！

現状



官公庁、大企業などが集中し、国内外の環境に大きな影響を与えています。

現状



皇居には、豊かな自然と生態系が存在します。一方、その他の区内の自然は少なく孤立しています。

次のページからは、受賞者の活動を紹介します。  
身近な生きものを楽しく観察しながら活動しています。  
次回は皆さんもふるって生物多様性大賞にご応募ください！



## 北の丸公園のトンボ調査

やまざき しゅうせい  
(山崎 柊星さん)



### 活動目的

千代田区の限られた環境の中でどんなトンボがいるのか気になり調査しました。



**活動場所** 北の丸公園



**規模** 個人での活動



**開始時期** 2019年4月1日から1年間  
不定期:期間中210回程度



### 活動内容

本調査では2019年4月～11月、2020年4月～8月の週4回程度、午前4時～午後7時にかけてトンボ(成虫)の発生場所、発生時期について調べました。

現地での調査時には柄が4m程あるたも網とトンボを一時的に保管できる三角紙を使用しました。今回の調査では合計23種類のトンボを確認することができました。



### 評価のポイント

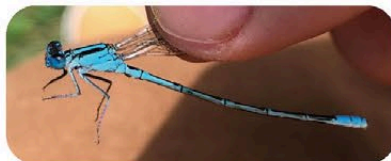
非常にしっかりとした調査内容でした。熱心さも感じますし、データの内容も素晴らしいです。今後も活動を続けて、北の丸公園のトンボリストを完成させてほしいと思います。

### 受賞者のひと言

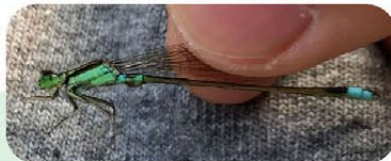
北の丸公園で調査していく中で、希少なトンボの発生や産卵場所の多様化など様々な発見がありました。今後はトンボの生息環境の保全を目指して、生息範囲や生息環境の調査を継続していきたいと思っています。

### ～具体的な活動内容～

今回の調査では合計23種類(ヤンマ科5種類、トンボ科6種類、イトトンボ科8種類、モノサシトンボ科1種類、ヤマトンボ科1種類、サナエトンボ科1種類、オニヤンマ科1種類)が確認できました。



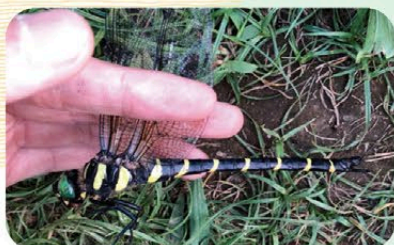
ムスジイトトンボ♂ (2020年6月20日)



アオモンイトトンボ♂ (2020年6月17日)



モノサシトンボ♂ (2020年8月18日)



オニヤンマ♀ (2020年8月19日)



チョウトンボ♂ (2020年6月28日)



ウチワヤンマ♂ (2019年9月22日)

確認されたトンボは「トンボ図鑑」として、確認地点や時期をまとめました!

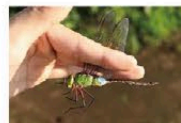
観測時期一覧

種名	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
ムスジイトトンボ	●	●										
アオモンイトトンボ	●	●										
モノサシトンボ	●	●										
オニヤンマ	●	●										
チョウトンボ	●	●										
ウチワヤンマ	●	●										
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

和名: ギンヤンマ  
ヤンマ科  
ギンヤンマ属  
初確認日: 2019年6月8日  
発生期間: 6月～10月  
生息場所: 中の池中央  
生息環境: 沈水植物の繁茂する陽当りのいい水面。  
特徴: 雄は頭部から胸部にかけて黄緑色で腹部には鮮やかな水色の斑紋がある。  
雌は頭部から腹部第2節まで黄緑色。稀に雌でも雄同様な水色の斑紋を持つ個体がいる。



♂ (2020年6月9日)



♀ (2020年8月4日)

### 発生場所 (▼)



5月上旬～10月上旬まで中の池の中心部で発生する。日中に広場で摂食する個体やバトロール飛翔、雄雌連絡個体、産卵する個体などが発生する。

# 入賞

## 千代田区における野鳥観察の成果と魅力発信

(法政大学人間環境学部高田ゼミ (金曜4限) 生物班)



### 活動目的

野鳥を題材とした千代田区における緑地の効用の考察と幅広い世代への情報発信



### 活動場所

千代田区内の緑地



### 規模

団体での活動  
16名(過去3年の活動人数)



### 開始時期

2017年4月から3年間  
定期:年間5~6回



### 活動内容

2017年度から継続して、ゼミ内の班で千代田区内の5箇所の緑地において野鳥観察を行い、データを収集しました。それらを分析評価した結果、都市緑地と野鳥の関係や、緑地ごとの特性、緑地の効用について考察することができました。また、活動をSNSにて発信しているほか、ゼミ内で探鳥会を開催し、より多くの人々の興味を惹きつけるよう日々活動を行っています。



### 評価のポイント

千代田区の生物多様性を発信している点が優れていました。コロナ禍での新しい取組みとしても今後の発展を楽しみにしています。

野鳥観察を継続する中で、都市における緑地・水辺環境の重要性について再認識することができました。私たち生物班は今後も研究に励むとともに、SNS等を通じて、千代田区に生息する生きものの魅力を発信していきたいと思えます。

### 受賞者のひと言

### ～具体的な活動内容～

都市部における緑への要求に応えるために、生物班ではSNSを用いて、日々の活動の紹介や千代田区内で確認できた野鳥の写真を発信しています。また、昨年11月には「まずは身近な人々に都市の野鳥について知ってもらいたい」という思いからゼミ内で参加者を募り、探鳥会を実施しました。今後はSNSと従来の野鳥観察を組み合わせ、「バーチャル探鳥会」という形で学生が行った探鳥会の様子や発見の感動を伝えたいと考えています。

### ゼミ内野鳥観察の様子



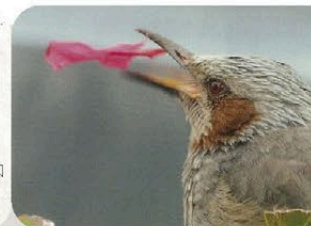
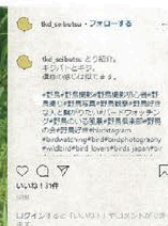
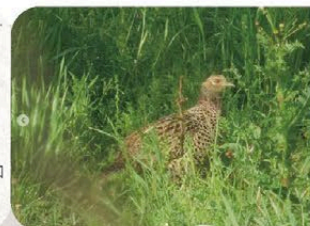
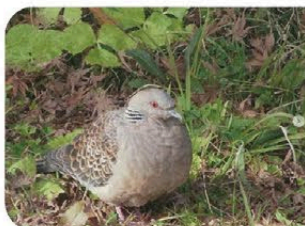
身近な人に野鳥の魅力を知ってもらいたい!



### Instagram



千代田区内で発見した野鳥の写真を発信中!!!



SNS上での発信例 (Instagram) : 法政大学人間環境学部高田ゼミ (金曜4限) 生物班の投稿より

## 生物多様性に配慮した「イイノの森」運営

(飯野海運株式会社)



### 活動目的

生物多様性保全、近隣住民や就業者から「イイノの森」への愛着形成



### 活動場所

千代田区内飯野ビルディング  
「イイノの森」



### 規模

企業の活動、面積:1,594㎡



### 開始時期

2014年11月から6年間  
通年(維持管理作業)、  
イベントは年間1回



### 活動内容

地域の生物多様性をテーマにオフィスビル  
附帯の緑地を創出し、潜在自然植生を参考  
に植栽種を選定しました。下草の維持や切  
株・剪定枝残置を行うなど生態系に配慮し  
た管理に加え、在来種であるニホンミツバ  
チの飼育や地域の鳥類及びチョウ類の生育  
環境を創出する取組みを実施し、緑地内で  
発芽した実生の配布イベントの実施や、定  
期的な生物調査を継続中です。

### 評価の ポイント



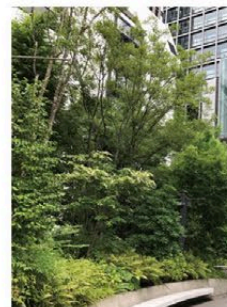
立地を生かしてよく考え  
られている緑地づくりの  
優良事例です。中低木も充  
実していて、鳥類にとって  
良い環境です。

在来種を中心に植栽種を選定し、生きもの  
を誘致できるように食餌草木も配置して  
います。森で採取した在来種の苗を近  
隣就業者に配布するなど、自然への理解  
を深める取組みを行っています。ニホン  
ミツバチの飼育にも挑戦しています。

### 受賞者の ひと言

### ～具体的な活動内容～

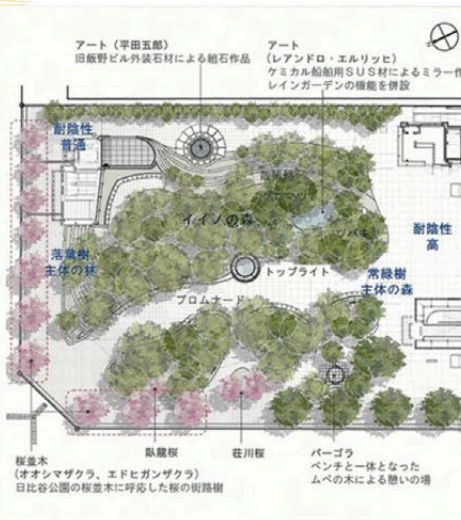
飯野ビルディング緑地帯「イイノの森」は日比谷公園の南側に位置する1,594㎡の緑地帯です。皇居や日比谷公園と愛宕山や増上寺の緑地を結んだ直線状に位置しており、イイノの森はこの両緑地を繋げる「緑の回廊」と潜在自然植生を参照した緑地づくりをコンセプトとしています。飯野ビルディングも省エネ性能等の環境性能が非常に優れたビルであり、地域と繋がりが100年先も愛される緑地を目指しています。



高木38種のうち  
25種が都在来種



低木25種、地被類23種  
うち31種が都在来種



隠蔽エリア(サンショウ・ミカン・アシタバ等)



ニホンミツバチの飼育



配布用苗の生育状況

# 千代田区におけるその他の取組み紹介

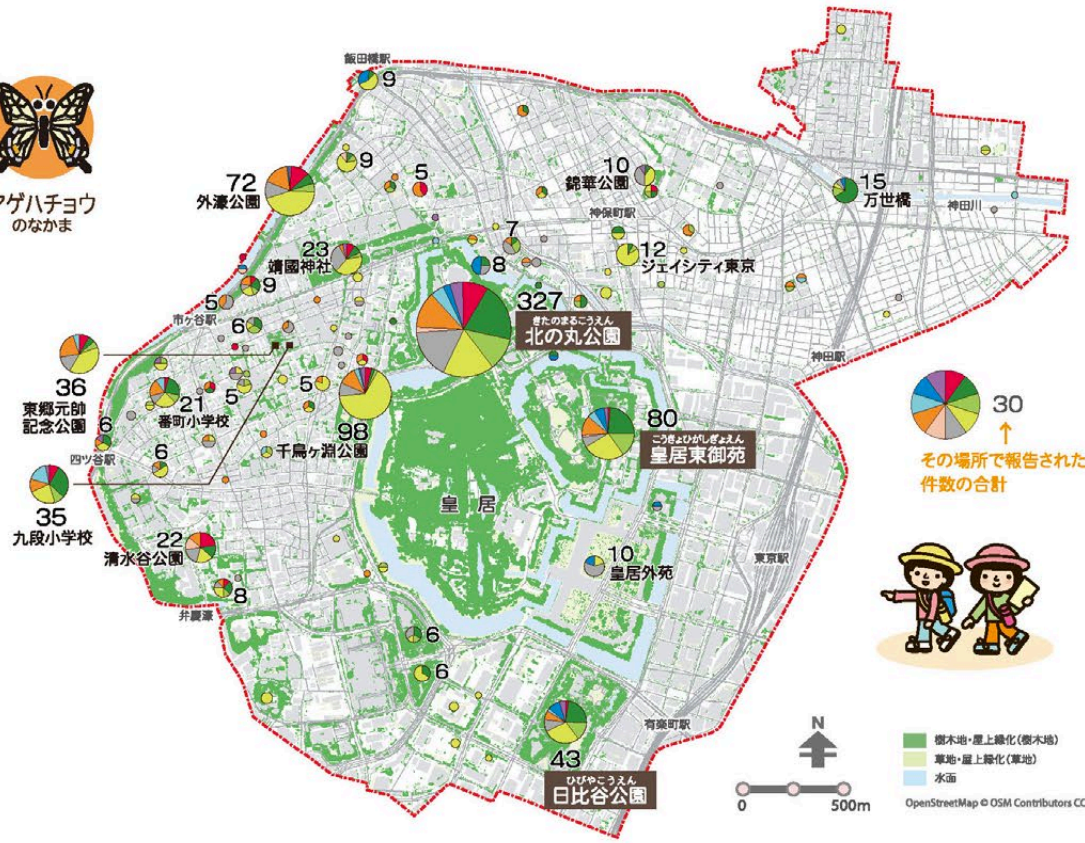
## 千代田区生きものさがし

「千代田区生きものさがし」は、区内の身近な自然にふれ、さまざまな生きものを知ること、自然や生きものへの関心を高めることを目的として、毎年6月～10月におこなっています。

また、毎年実施することで、区内に生息する生きものの現状や変化を確認していきます。



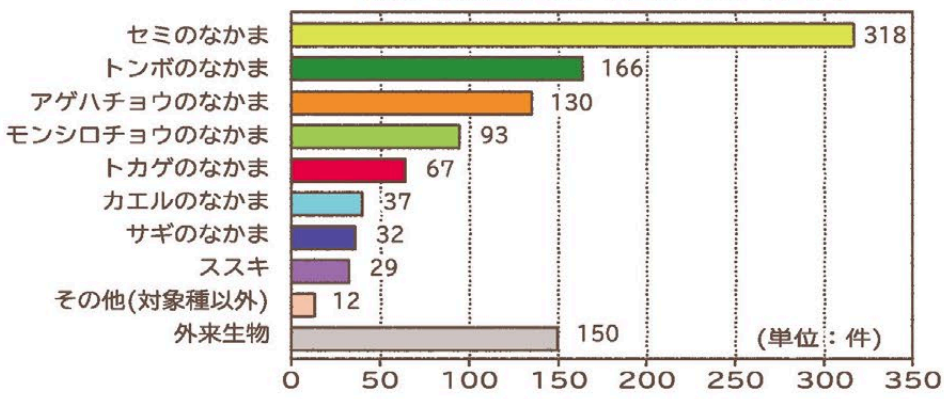
## 調査対象の生きもの・発見マップ(2020年)



30  
↑  
その場所で報告された  
件数の合計

## 調査結果(2020年)

【見つけた生きもの(種群) ランキング】



生きものさがし2020では、合計1034件の情報が寄せられました。そのうち確認数が一番多かった生きもの(種群)はセミのなかまでした。次いでトンボのなかま、アゲハチョウのなかまが多く確認されました。



# ちよだ生物多様性大賞

## 令和3年度 募集案内



### 募集期間

令和3年 **6月1日**(火) ~ **9月30日**(木)

### 対象

区内で生物多様性の保全等に関する活動をしている個人、団体、事業者等  
※自薦、他薦を問いません。

家庭での身近な取り組みでも、お気軽にご応募下さい！



### 応募

以下の方法で応募できます。区ホームページから応募用紙をダウンロードしてください。

【応募方法】 ①メール ②郵送 ③持参(環境政策課)

### 選考ポイント

実効性や発展性・波及性等の視点から、個人、団体等の特性に合わせて評価します。

表彰者発表 令和3年12月(予定)

表彰式 令和4年1月(予定)

※応募書類と写真は返却いたしません。

※受賞者の活動はホームページ等で公表します。

## 表彰の対象となる活動例

### 1 生物多様性の保全に関する活動

- ▶ アダプトシステムへの参加
- ▶ 緑地づくり
- ▶ ツバメの巣の見守り など



アダプトシステム

### 2 生きもののネットワークづくりに関する活動

- ▶ 鳥が休める場所づくり
- ▶ 生きものが住みやすい場所づくり
- ▶ 小さな空地も活かした都心の緑化 など



ツバメの巣



羽を休めるカワセミ

### 3 普及・啓発に関する活動

- ▶ 生きものさがし観察会への参加
- ▶ 生物多様性の普及グッズの制作 など



生きものさがし観察会

### 4 その他、特徴ある活動

- ▶ 生きもの情報の蓄積や発信
- ▶ 生きもの調査による発見 など



生物多様性の普及グッズ



緑地づくり

応募／問い合わせ先：千代田区環境まちづくり部環境政策課

電話：03-5211-4253 FAX：03-3264-8956

住所：〒102-8688

Eメール：kankyouseisaku@city.chiyoda.lg.jp

千代田区九段南1-2-1

